

データベース編

■分類別データ（目次）

テーマ	資源	頁
四季の変化を楽しむ		
人に優しい自然と遊ぶ	・北東北の自然公園と自然環境保全地域	92
	・自然公園	93
	・世界遺産白神山地	95
	・自然環境保護地域とその特徴	96
	・雪形	98
	・地域の人々による自然を守り育てる活動	99
まつりの宝庫をめぐる	・祭りカレンダー	100
	・夏のはじける祭り	101
	・北東北の冬祭り	104
心を癒す名湯・秘湯	・北東北の名湯・秘湯	108
自然を敬い共生する		
山野に囲まれた心地よいまちやむら	・農林水産業関連文化的景観重要地域	110
	・骨寺村遺跡	111
	・農林水産業の風景	113
	・景観形成重点地域（岩手県）	116
	・美しい日本の村景観コンテスト受賞	120
	・美しい日本のむら景観100選	122
	・かおり風景100選	124
北東北の聖地を巡る	・山岳信仰	125
	・民間信仰	126
	・歴史的な社寺	127
	・義経ゆかりの平泉の古寺と周辺の風景	129
	・四寺回廊	130
縄文文化を伝える		
ふるさとの原点・縄文ワールド	・縄文遺跡	131
	・縄文をテーマとする研究交流活動（「三内丸山縄文発信の会」の活動）	135
縄文人の心に触れる	・民俗芸能	138
	・「田沢湖芸術村」と「わらび座」	141
古代から受け継がれてきた食の知恵	・マタギの食と森	143
	・カシオペア連邦	145
	・雑穀・山菜	146
	・山海の幸を保存する知恵	148
生きがいの場を持つ		
ふるさとの歴史を学び・創る	・伝統的建造物群保存地区	150
	・都市景観100選	152
	・弘前の洋館たち	153
	・歴史的景観を形成する城郭・民家	155
	・産業遺構	156
	・青森県ふるさと眺望点	157
	・岩手の残したい景観	161
文学ロマンに触れる	・宮沢賢治ゆかりの風景	165
	・遠野物語	167
交易の歴史を知る		
歴史街道に行く	・中世の北方交易遺構 青森県十三湊	170
	・北前船の寄港地と文物	173
	・北上川の舟運復活に向けた取り組み	175
	・江戸・明治の流通拠点「江刺市」の蔵を核にしたまちづくり	177
	・歴史街道	179
旅人の見た北東北	・菅江真澄の見た北東北	180
	・吉田松陰の見た北東北	183
	・イザベラバードの見た北東北	184
	・ブルーノタウトの見た北東北	185

■データ収集の分野等の範囲（本編p 47より）

本調査によるデータ収集は、資源の活用によって連携・交流活動の展開及び新たな経済活動の創出につながることに重点をおく。

従って、データ収集は、これまでに一定の評価が得られている資源に止まらず、地域住民による発想まで含めて、今後の活用可能性が期待される資源までを収集範囲とし、具体的には次のとおりである。

①既往の基準によって一定の評価が与えられているもの

- ・学術的に一定の評価を得ている資源（例えば文化財保護制度など）
- ・行政等による基準に基づき一定の評価を得ている資源
（例えば都市景観・農村景観表彰制度により選出されているもの）
- ・全国的な活動グループや有識者による評価が定着している資源
（例えば日本百名山や日本三大美林など）

②明確な基準はないが関心が高まっているもの

- ・行政が主導する取組みや企業等の民間主体が参画するイベント（例えば縄文や祭り）
- ・集落単位、あるいはグループや個人研究者の小規模で個別的な取組み
（例えば地域有志による保存活動）

■選定基準（本編p 47より）

新たに掘り起こし、または再発見して光を当てることによって、地域づくりに活用できることが重要である。

そのため、資源の選定に当たっては、次の点を基準として考えることとする。

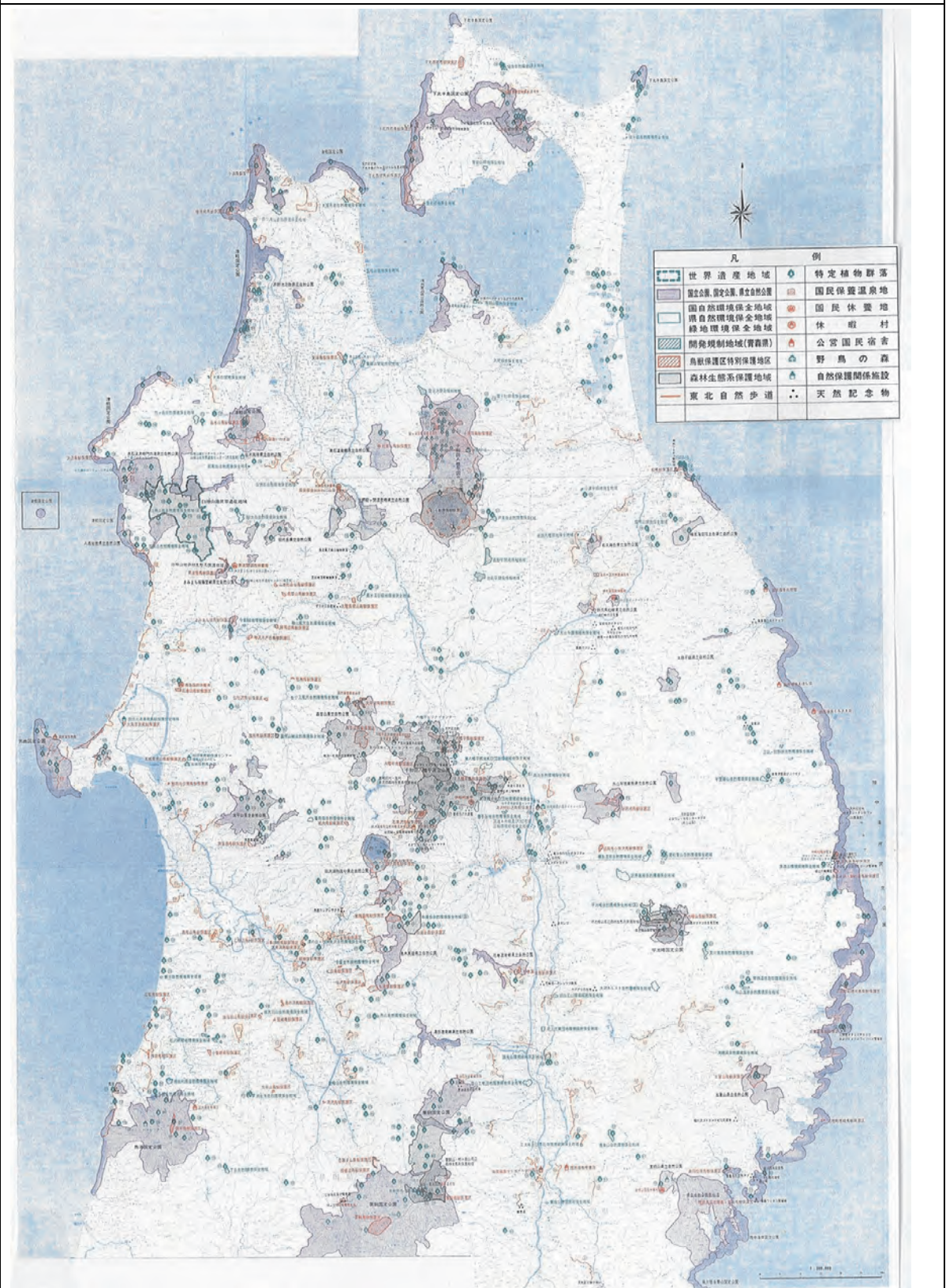
- ①歴史として記録に現れるもの
- ②文学や紀行文に取り上げられているもの
- ③地域住民の認知度が高いもの
- ④生活様式または習慣・風習・技術として定着しているもの
- ⑤地域的広がりを持って分布しているもの
- ⑥観光をねらいとする場合は一定の集客力を有するか、それらと関連性を有するもの

北東北風景・景観資源の分類とデータベースの総括

	発見し驚く楽しみ	語らい・ふれ合い・集う 楽しみ	くつろぎ癒される楽しみ
四季の変化 を楽しむ (自然系)	●人に優しい自然と遊ぶ * 国立・国定・県立自然公園 * 世界遺産白神山地 * 自然環境保護地域と特徴 * 香り風景 100 選 * 雪形（ゆきがた） * 自然を守り育てる活動	●祭りの宝庫をめぐる * 祭りカレンダー * 夏のはじける祭り * 冬祭り	●心を癒す名湯・秘湯 * 北東北の名湯・秘湯
自然を敬い 共生する (農山漁村系)	●山野に囲まれた心地よいまちやむら * 農林水産業関連文化的景観重要地域 * 景観形成重点地区 * 美しい日本のむら景観コンテスト受賞 * 美しい日本の村景観 100 選		●北東北の聖地を巡る * 山岳信仰（霊山・霊場） * 民間信仰 * 歴史的な社寺 * 義経所縁の古寺と周辺 * 四寺回廊
縄文文化を 伝える (歴史系)	●ふるさとの原点・ 縄文ワールド * 縄文遺跡 * 縄文をテーマとする研究・交流活動	●縄文人の心に触れる * 民俗芸能 * 田沢湖芸術村とわらび座	●受け継がれてきた 食の知恵 * マタギの食と森 * 山菜・雑穀料理 * 保存する知恵
生きがいの 場を持つ (都市産業系)	●ふるさとの歴史を 学び・創る * 歴史的街並み (重要建造物、美観地区・伝統的建築物群保存地区) * 都市景観 100 選 * 弘前の洋館 * 産業遺産（明治・大正期） * ふるさと眺望点（青森） * 残したい景観（岩手）	●文化をつくり・発信する 場がある * 活動グループ * 活動拠点 注；活動グループ及び活動拠点は 各々の項目内で紹介している	●文学ロマンにふれる * 宮沢賢治ゆかりの風景 * 遠野物語
交易の歴史 を知る (交通系)	●歴史街道を行く * 北方交易遺構（十三湊） * 北前船の寄港地と文物 * 舟運の歴史 * 歴史街道	●旅人の見た北東北を行く * 菅江真澄 * イザベラバード * ブルーノタウト * 吉田松陰	

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	人に優しい自然と遊ぶ
-------	-----------	-------	------------

北東北の自然公園と自然環境保全地域



資料；北東北三県「自然とのふれあいマップ」／北東北環境フォーラム

基本テーマ		四季の変化を楽しむ	サブテーマ	人に優しい自然と遊ぶ
自然公園（１／２）				
区分・名称		所在地	面積(ha)	
国立公園	十和田八幡平	青森県 青森市・平賀町・黒石市・十和田町 秋田県 鹿角市・小坂町・田沢湖町 岩手県 安代町・松尾村・雫石町・西根町・湯沢村	85,411	
	陸中海岸	岩手県 久慈市・野田村・普代村・田野畑村・岩泉町・田老町・宮古市・山田町・大槌町・釜石市・三陸町・大船渡市・陸前高田市・ (宮城県気仙沼市・唐桑町)	11,232、 (岩手分) 全体 12235	
国定公園	下北半島	青森県 むつ市・東通村・川内町・佐井村・大畑町・脇野沢村・大間町	18,737	
	津軽	青森県 今別町・岩崎村・平館村・車力村・三厩村・岩木町・鰺ヶ沢町・中里町・木造町・市浦村・深浦町・小泊村	25,966	
	早池峰	岩手県 遠野市・大迫町・川井村	5,463	
	栗駒	秋田県 湯沢市・雄勝町・東成瀬村・皆瀬村 岩手県 北上市・一関市・湯田町・金ヶ崎町・胆沢町 (宮城県鳴子町・栗駒町・花山村 山形県新庄市・金山町・最上町)	37,782 (秋田・岩手分) 全体 77122	
	男鹿	秋田県 男鹿市	11,534	
	鳥海	秋田県 矢島町・仁賀保町・象潟町・鳥海町 (山形県酒田市・遊佐町・八幡町)	16,372 (秋田分) 全体 31953	
県立自然公園	青森県	浅虫夏泊	青森市・平内町	5,466
		大鰐碓ヶ関温泉郷	大鰐町・碓ヶ関村	6,730
		種差海岸階上岳	八戸市・階上町	2,427
		名久井岳	三戸町・南部町	1,076
		芦野池沼群	金木町・中里町	612
		黒石温泉郷	黒石市・平賀町	5,100
		岩木高原	岩木町	2,587
		赤石溪流暗門の滝	鰺ヶ沢町・西屋村	5,239

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	人に優しい自然と遊ぶ
-------	-----------	-------	------------

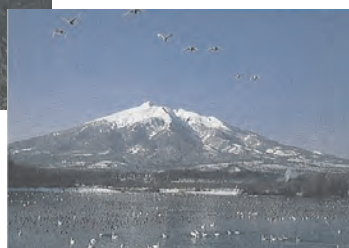
自然公園（２／２）

区分・名称			所在地	面積(ha)
県立自然公園	岩手県	花巻温泉郷	花巻市	1,587
		久慈平庭	久慈市・山形村・葛巻町	1,693
		外山早坂高原	岩泉町・玉山村	9,411
		湯田温泉峡	湯田町	1,534
		折爪馬仙峡	二戸市・一戸町・九戸村	919
		五葉山	釜石市・三陸町・住田町・大船渡市	5,918
		室根高原	大東町・千厩町・室根村・陸前高田市	1,495
	秋田県	田沢湖抱返り	田沢湖町・角館町・西木村	7,477
		きみまち坂藤里峡	二ツ井町・藤里町	3,202
		八森岩館	八森町	4,923
		森吉山	八森町	15,095
		太平山	秋田市・五城目町・河辺町・上小阿仁村	11,897
		田代岳	田代町	1,855
		真木真昼	太田町・千畑町	5,903

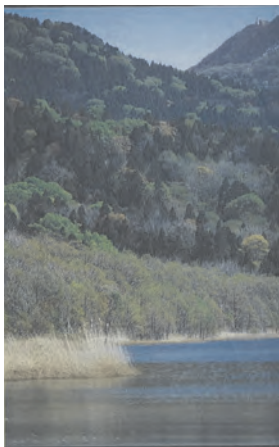


白神山地

天然記念物ウミネコと繁殖地の蕪島(八戸市)

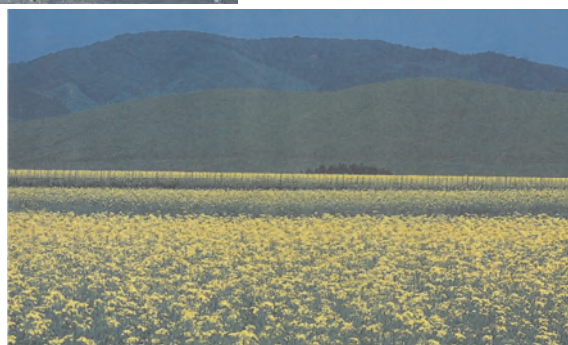


春の岩木山



恐山の春もみじ

春フェスティバル
よこはまの光景
(青森県横浜町)



資料；北東北三県「自然とのふれあいマップ」／北東北環境フォーラム、北彩紀行／青森県

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	人に優しい自然と遊ぶ
世界遺産白神山地			
■白神山地（世界遺産登録区域 区域面積 16,971ha） 白神山地は、青森県と秋田県にまたがる約13万haに及ぶ山地帯の総称であり、そのうち約17000haが、1993年12月に鹿児島県の屋久島とともに世界遺産に登録された。 ここには、人為の影響をほとんど受けていない、世界でも最大級の原始的なブナ林が広がる。また、多様多種の動植物が生息・自生するなど、貴重な生態系が保たれている。 （1993年12月11日登録） 登録基準：陸上、淡水域、沿岸・海洋生態系、動・植物群集の進化や発展において、進行しつつある重要な生態学的・生物学的過程を代表する顕著な例であること。（自然遺産 ii）   			

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	人に優しい自然と遊ぶ
自然環境保護地域とその特徴（１／２）			
＜国指定＞			
名称	自然の特徴	所在地	面積 ha
白神山地 （世界遺産指定）	日本最大級のブナ天然林、クマゲラ等希少動植物相	青森県 鯨ヶ沢町・深浦町・西目屋村 秋田県 藤里町	14,043
和賀岳	ブナ・ミヤマナラ天然林、ハイマツ群落、雪田植生	岩手県 沢内村	1,451
早池峰	高山・亜高山性植生、蛇紋岩地植生、アカエゾマツ天然林	岩手県 川内村	1,370
＜県指定＞			
名称	自然の特徴	所在地	面積 ha
青森県 9 地域 1, 230 ha			
然ヶ岳	ブナ・キタコヨリ等自然林、ツガルミセバヤ等自生地	鯨ヶ沢町	224
丸屋形岳	ブナ天然林、クロサシヨウワ・モリアカガエル等生息地	平舘村・蟹田町	153
屏風岩	特異な岩壁地形、コイナガ等の北方系植生	相馬村	13
座頭石	アカマツ自然林と一体の特異な岸壁地形	弘前市	4
戸来岳	ブナ天然林、イイ矮小林自生、コメツジ群落	新郷村	195
猿ヶ森	クロマツ海岸林中のヒバ埋設林	東通村	4
燧岳	ブナ、ヒバ矮形・ミズゴケ群落、ハナヒバ群落等	大畑町、風間浦村	226
尾太岳	ブナ林極相、コケモモ、コメツジ群落	西目屋村	271
四ツ滝山	ブナ天然林	三厩村・市浦村・小泊村	141
岩手県 13 地域 2, 195 ha			
琴畑湿原	北上高地の低層湿原	遠野市	17
松森山	アカマツ林	西根町	8
荒川高原	シャクナゲ群落、溪流等の雄大な自然景観	遠野市	281
宇霊羅山	石灰岩地帯特有の植生	岩泉町	163
沼袋・田野畑	チョウセンアカシジミ生息地	田野畑村	60
滝観洞	原始性に富む石灰洞	住田町	50
区界高原	高原、特に残丘とシラカバ等の樹林、草原	盛岡市・川井村	550
大洞カルスト	典型的なカルスト地形	遠野市	250
蓬萊山	蛇紋岩特有の植生	江刺市・大東町	300
青松葉山	北上高地のアオモリトドマツ林北端残存地	岩泉町・川井村	
櫃取湿原	北上高地の中間湿原	岩泉町	
和山湿原	北上高地の低層湿原及び中間湿原	釜石市	38
春子谷地	低標高地における県内最大の低層湿原	滝沢村	38

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	人に優しい自然と遊ぶ
-------	-----------	-------	------------

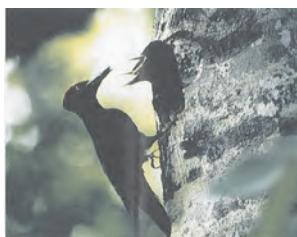
自然環境保護地域とその特徴（２／２）

< 県指定 >

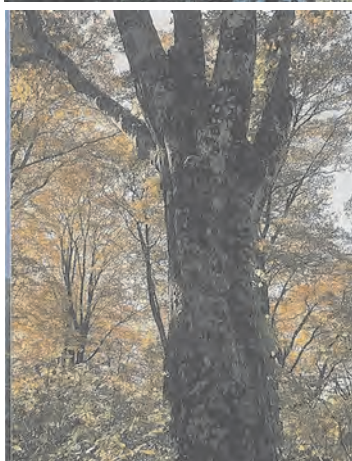
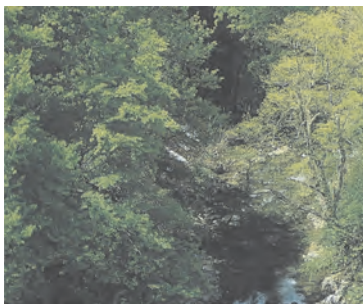
名称	自然の特徴	所在地	面積 ha
秋田県 14 地域 686 ha			
南由利原	湿原植物(ミズバショウ、ミツガシラ)、草原植物群落	由利村	192
湯の台・小方角沢	オミズゴケ等湿原植物群落、ハチウトホン生息地	神岡町、西仙北町	53
冬師	ハノキ等湿原地林、ミズバショウ等湿原植物群落	仁賀保町	32
露熊山峡	イブキジャコウソウ等岩壁植物自生地	阿仁町	71
保呂羽山	ブナ、ミズナラを主とする天然林	大森町	11
刈女木	ガリマギイヌビエ等湿原植物群落	羽後町	34
羽黒山	カラスザンショウ等暖地性植物	八森町	5
外山	ブナ・ユキツバキ群落	山内村	17
丁岳	ブナを主とする天然林、亜高山性植物自生	鳥海町	88
番町森	ブナ・ミズナラを主とする天然林	河辺町	127
鞍山風穴	オオタカネイバラ等岩壁植物群落	鷹巣町	7
金峰山	ブナ・ユキツバキ群落	平鹿町	22
小又風穴	フジノマンネングサ等風穴植物群落	森吉町	21
親川	タブノキ・ヤブツバキ群落	本荘市	6



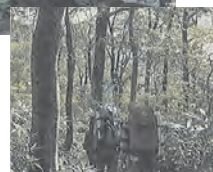
水芭蕉と森



森に住む
クマゲラ



ブナ林の四季



資料；北東北三県「自然とのふれあいマップ」／北東北環境フォーラム、北彩紀行／青森県

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	人に優しい自然と遊ぶ
-------	-----------	-------	------------

雪形（ゆきがた）

雪形ってしってますか？

納口恭明（防災科研・雪形ってしってますか？HP より）

■雪形とは

雲や林を見ているとふと何かの形に見えたりすることがある。星座もそうであるが、雪解けの頃の山肌と残雪の織成す不規則・不均一な白黒パターンも、同じく空想を膨らませて見るといろいろな姿形に見えてくる。ある意味では、心靈写真や心理テストのようでもある。この残雪の白黒パターンは雪解けの進行とともに形を変化させ、やがて消滅するが、雲や心靈写真と違い、その不規則・不均一な形に、毎年一度だけ再会できるのである。

日本では昔から、これらの形を「種まき爺さん」、「跳ね馬」、「川の字」のように人や動物、文字などに見立て、その出現を農事の開始や豊凶の占いに用いていたといわれている。これらは一般には「雪形（ゆきがた）」と呼ばれ、全国各地の積雪地帯に分布している。雪形には山の地肌の黒を背景とし、残雪の白を形と見るタイプと、逆に白を背景とし、黒を形としてみるタイプがある。

■雪形の現状

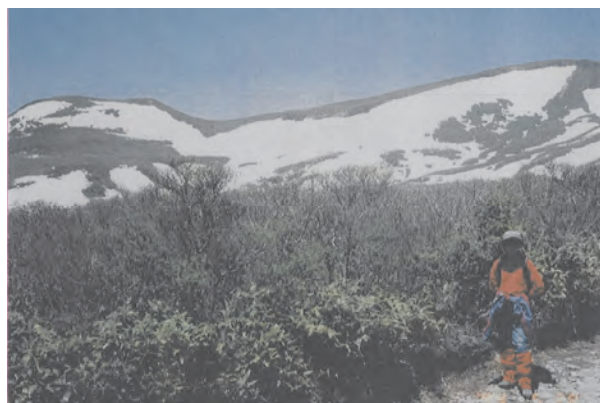
雪形は季節の風物詩としてしばしば、その出現が地方の新聞等でも記事となり、一部の人々の関心を集めている。有名なものは観光資源としても利用され、人気も高い。その一方で、現代において農事暦としての実用上の必要性の消失から、雪国で生活する人々の日常生活からも遠ざかり、伝承という形態はほとんど存在しない。また、一部の有名な雪形を除き、例えば文献上では存在していても、実際にどれかを確認できない雪形がますます増加する傾向にある。田淵は日本全国で約 300 の雪形を紹介している。このうち、実際に特定できるのは約半数に過ぎない。

研究の対象としての雪形は古くから主に民俗学の分野に属しており、自然科学的な視点からの研究はほとんどない。（以下略）



八甲田山の雪形
6月初めに青森市から見える八甲田山に「三本鍬」「蟹ハサミ」「牛首」の雪形が現れる

栗駒山の雪形
初夏になると山腹に「跳ね馬」の形が現れる



資料；納口恭明・雪形ってしってますか？HP

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	人に優しい自然と遊ぶ
地域の人々による自然を守り育てる活動 はちのへ小さな浜の会			
「はちのへ小さな浜の会」は、開発ブームで多くの問題を引き起こしていた種差海岸と景観の保全を目的に 1989 年に、11 人の若者によって結成された。通常はゴミ拾いの会として活動し、定例行事として市民参加の潮風ハイキングなどを通じて海岸保護の意識を高めている。生活領域の中での保護活動という難しい一面はあるが、地元の人々との対話を重視し、理解と信頼を得ることを心がけながら終わりのない運動を進めている。 ■種差海岸とは 青森県南部の太平洋側に位置する八戸市にウミネコの繁殖地として有名な蕪島がある。この島から南に続く 10 数キロの海岸線を種差海岸という。ここには小さな集落や磯漁業の漁港が存在し、それぞれの間には素晴らしい景観を保つ天然の芝地、奇岩、松林、砂浜、磯浜が連なり、約 5.5 キロの遊歩道が整備されている。春から秋にかけて咲く海岸植物は 400 種を越えると言われている。 また、市の中心部から車で 20～30 分の所にあり、まさに街の中の自然と言える。八戸市民であれば行ったことがない人はいないと言うほど親しまれている。 ■抱え続けてきた問題と取組み 1937 年に国の名勝指定、1953 年に県立自然公園に指定されているが、区域の 90%以上が民有地である。つまりこの事は、海岸の景観は法規制と地元住民の協力によってのみ保たれてきたと言っても過言ではない。例によって近年の開発ブームはここでも多くの問題を提起した。そこで当会は、海岸線の中で唯一半世紀前の原風景を残している大須賀浜、釜ノ口、中須賀を活動拠点に据え、この運動が種差海岸全体に広がることを期待している。 もう一つは会の結成時から将来の目標としている海岸の公有地化、あるいは保存契約等の実現へ向け、その前提として（仮称）「なぎさ基金」計画を進めているところである。 ■会員制度 年会費制：個人 1 口 1000 円 法人 1 口 3000 円 ■定例行事 ◇定期清掃と初夏と秋の潮風ハイキング ◇小さな浜のフォーラム開催 ■定期刊行物 ◇広報パンフレット ◇会報「シー・ルック・ロード」			
			

資料；ナショナルトラストガイドブック 2001（社・日本ナショナルトラスト協会）

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	まつりの宝庫をめぐる
祭りカレンダー			
祭りとは民俗芸能の宝庫、北東北。一年中、どこかで祭りがある。縄文の心を感じさせる、宇宙的スケールの時間を経て受け継がれてきた祭りや、新しい祭り。北東北人は、古代から祭りが好きだ。 ■北東北の祭りカレンダー（JR 東日本のパンフレットに紹介される集客力のある祭とイベント）			
	青森県	岩手県	秋田県
1 月		遠野冬物語（遠野市）	
2 月	十和田湖冬物語（十和田湖町） 弘前城雪灯籠まつり（弘前市） 八戸えんぶり（八戸市）	岩手雪祭（雫石市） 横手かまくら（横手市）	十和田湖冬物語（小坂町） なまはげ柴灯まつり （男鹿市） 犬っ子まつり（湯沢市）
3 月	八甲田ウォーク（青森市）		
4 月	蕉島まつり（八戸市） 弘前公園桜まつり（弘前市）	北上展勝地さくらまつり （北上市） 角館桜まつり（角館市） 日高火防祭（水沢市）	千秋公園桜まつり（秋田市） きみまち阪桜まつり （二ツ井町）
5 月	津軽三味線全国大会（弘前市） 菜の花フェスティバル（横浜町）	天台寺春の例大祭（浄法寺町）	願人踊（八郎潟町）
6 月	奥津軽虫と火まつり （五所川原市）	チャグチャグ馬子（滝沢市） 毛越寺あやめ祭り（平泉町）	小町まつり（雄勝町） 千畑うたごえまつり（千畑町）
7 月	八戸三社大祭（八戸市）		
8 月	青森ねぶた祭（青森市） 五所川原立佞武多 （五所川原市）	盛岡さんさ踊り（盛岡市） 一関夏祭り（一関市） 北上みちのく芸能まつり （北上市）	秋田竿燈まつり（秋田市） 西馬音内盆踊り（羽後町） 花輪ばやし（鹿角市）
9 月	十和田湖国際祭（十和田湖町）	花巻まつり（花巻市） 遠野郷八幡宮例祭（遠野市） 盛岡秋まつり（盛岡市）	角館祭りのやま行事 （角館町）
10 月	弘前城菊と紅葉まつり （弘前市） 大間超マグロ祭り（大間町）	よこて菊まつり（横手市）	大館きりたんぽまつり （大館市）
11 月	八戸縄文なべ祭り（八戸市） 日本一のしもだ鮭まつり （下田町）	秋の藤原まつり（平泉町） 水車まつり（久慈市） 鮭・あわび祭り（田老町） 岩出山パルソフェスティバル （岩出山町）	波宇志別神社霜月神楽 （大森町）
12 月	ヨールブッキまつり（岩崎村）	なまはげ（男鹿市）	唐楽館常設公演千穂楽 （小坂町）

資料；JR 東日本旅行ガイド

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	まつりの宝庫をめぐる
-------	-----------	-------	------------

夏のはじける祭り（1／3）

青森の夏祭り



ねぶた祭（青森市）

日本を代表する火祭り。東北三大祭りの一つ。中国や日本の歴史物語を題材にする灯籠が練り歩く。



八戸市三社大祭

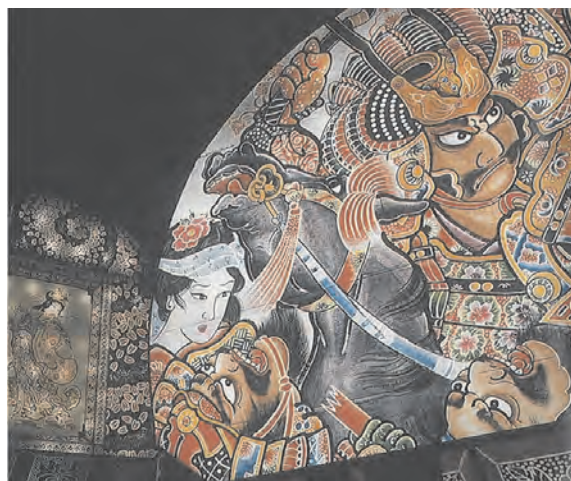
（八戸市）

約 280 年の歴史を持つ八戸市伝統の山車祭り。



ねぶた祭り（弘前市）

扇漣の灯籠に三国志や水滸伝、戦国の武将、歌舞伎を題材にした武者絵が描かれる。



黒石よされ（黒石市）

津軽の代表的な民謡“よされ”にあわせて練り歩く、日本三大踊りの一つ。



資料；各県・市町村パンフレット

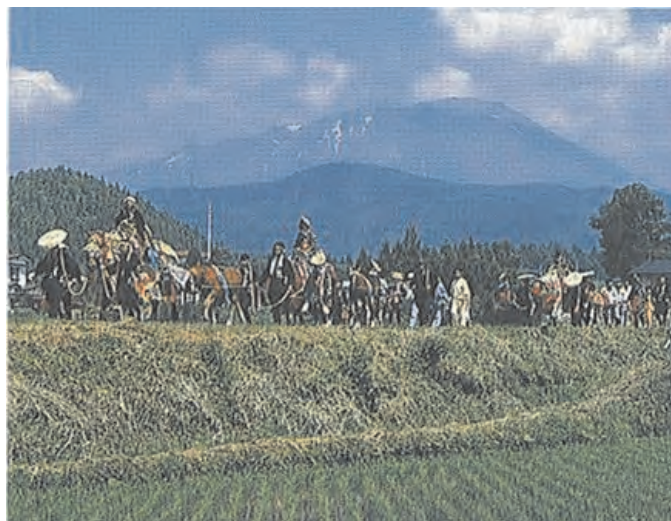
基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	まつりの宝庫をめぐる
-------	-----------	-------	------------

夏のはじける祭り（2／3）

岩手の夏祭り

さんさ踊り（盛岡市）

盛岡市中心部を数百の団体が踊り流し、締太鼓の音が響き渡る。



ちゃぐちゃぐ馬子（盛岡市・滝沢村）

国の重要無形民俗文化財の伝統行事。100頭ほどの馬が滝沢村から盛岡市までパレードする。

みちのく芸能まつり（北上市）

伝統芸能の伝承と官ツ賞を目的として、県内外から団体が集まり、郷土芸能を疲労する。

遠野まつり（遠野市）

八幡宮の例祭とあわせて行われ、南部ばやし、鹿踊、神楽、田植え踊り、さんさ踊りなどの様々な郷土芸能を一堂に楽しむ事ができる。



資料；各県・市町村パンフレット

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	まつりの宝庫をめぐる
-------	-----------	-------	------------

夏のはじける祭り（3／3）

秋田の夏祭り

竿灯（秋田市）

日本の夏を代表する七夕行事。米俵に見立てた46個の提灯が竹竿に吊り下げられると全体像は稲穂を形作る。



西馬音内盆踊り（羽後町）

豊年踊りと亡者踊りが組合わさった踊りといわれる、国指定重要無形文化財。



花輪はやし（鹿角市）

日本三大ばやしノ一つに数えられる。江戸中期の地唄、幕末の演芸囃子などを基調とする。



小町まつり（雄勝町）

芍薬の花が満開になる頃、女性たちが小町堂の前に会する平安絵巻の祭り。



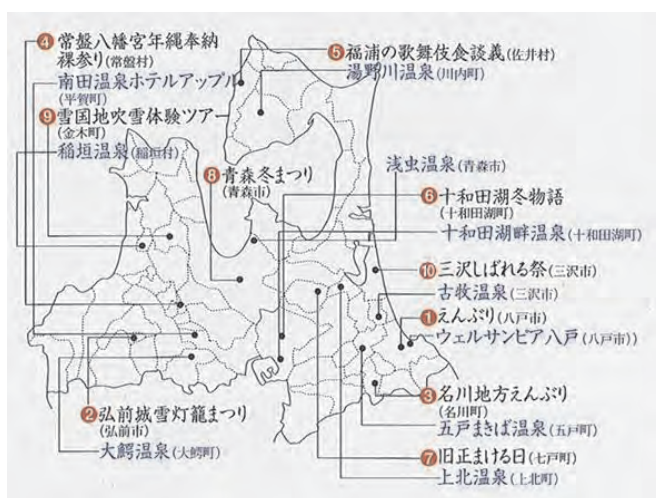
基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	まつりの宝庫をめぐる
-------	-----------	-------	------------

北東北の冬祭り（1／4）

みちのくの長い冬。雪に閉ざされる厳しい冬。

だからこそ人々は、集い・語り合った。暖かい心を通わせた。縄文のビッグマンは、はるか遠く糸魚川から渡ってくるヒスイを人々に分け与えた。鮭や木の実を持ち寄り宴の日々を過ごした。

実りに感謝し、神々に加護を願い、春を夢見て、皆で盛り上がった。縄文の人々は争いを嫌った。だから、心とエネルギーは各地に伝播した。北東北の各地で、今もなお、ふるさとの冬祭りが輝きを放っている。



青森の冬祭り



秋田の冬祭り



岩手の冬祭り

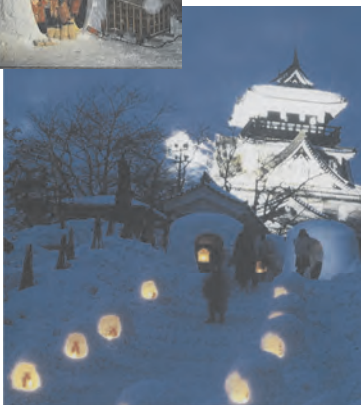
資料；東北の冬まつり；東北六県観光推進協議会

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	まつりの宝庫をめぐる
北東北の冬祭り（2／4）		青森の冬祭り	
		①えんぶり 2月17日～20日 八戸に春到来を告げる豊年祈願のまつり 	
②弘前城雪灯籠祭り 2月10日～13日	③名川地方えんぶり 2月第2土・日 動きの激しい「どうさいえんぶり」	④常盤八幡宮年縄奉納裸参り 1月1日 寛文4年（1664年）から続く伝統の祭り 	
⑤福浦の歌舞伎食談義 2月下旬 明治時代に上方歌舞伎の役者夫婦より伝授されたことに始まる		⑦旧正まける日 2月12日～13日 300年余の歴史を誇る恒例行事	
⑧青森冬まつり 2月11日～13日 青森の銘店街も参加して楽しむ	⑨雪国地吹雪体験ツアー 1月下旬～2月上旬 昭和63年から始まった冬季観光	⑩三沢しばれる祭 2月中旬 大型雪像のライトアップや花火大会	

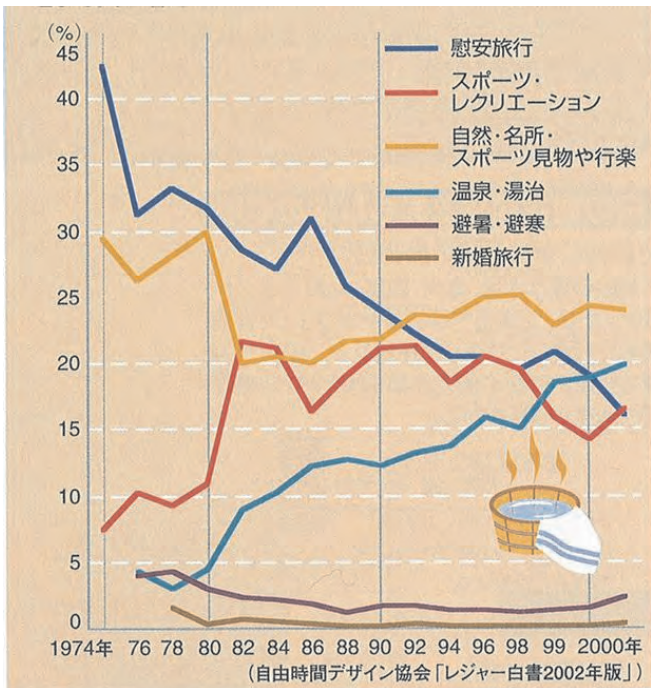
資料；東北の冬まつり；東北六県観光推進協議会

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	まつりの宝庫をめぐる
北東北の冬祭り（3／4）		岩手の冬祭り	
	①平笠裸参り 1月8日 全国的にも珍しい女性の荒行		
②岩手雪まつり 2月上旬～中旬 小岩井農場を会場として開催される	③遠野どべっこまつり 11月～2月 「どべっこ」とは遠野地方のどぶろく		④胡四王神社蘇民祭 1月2日 慶応元年から続く伝統行事
	⑤龍泉洞みずまつり 1月中旬 龍泉洞地底湖の自然の恵みに感謝するまつり		
	⑥毛越寺二十日夜祭 1月20日 850年間続く正月14日から続く春祈願の結願として催される祭り。平安時代の舞を伝える伝統芸能も見られる	⑦伊手熊野神社蘇民祭 1月第3土曜日 凶作や疫病などの災いをはらい五穀豊穰・火難除け・厄除けを祈願する	
⑧大東大原水かけ祭り 2月11日 明暦3年（1657年）に始まる。大火を受けた火防祈願と防戦伝を兼ねた祭り	⑨黒石寺蘇民祭 旧暦の正月7日～翌早朝 裸の男たちによる災厄払いと五穀豊穣祈願		⑩さいどき 旧暦1月6日 神楽奉納の似鳥八幡宮の伝統行事

資料；東北の冬まつり；東北六県観光推進協議会

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	まつりの宝庫をめぐる
北東北の冬祭り（4／4）秋田の冬祭り			
 	①三吉梵天まつり 1月17日 喧嘩梵天の異名がある エネルギッシュな祭り 		
	②かまくら 2月15・16日 かまくらに水神様を祀り五穀豊穡や 長寿・鎮火安隠を願う 	③掛魚（かけよ）まつり 2月4日 別名「タラまつり」と呼ばれる海上安全 と豊漁を願う祭り 	④紙風船上げ 2月10日 100年余の伝統を持つ西木村のまつり 
⑤大館アメッコ市 2月第2土曜日とその翌日 約400年前から続く民族行事 	⑥火振りかまくら 2月14日 小正月の行事で俵に火をつけて振り回す 	⑦六郷のかまくら（竹うら） 2月11日～15日 3～4mの青竹を南北に分かれて打ち合う 	
⑧犬っこまつり 2月第2土曜日とその翌日 米の粉で作った犬を盗難除けとして回る 	⑨なまはげ柴灯（せど）まつり 2月第2金・土・日曜日 なまはげには、大晦日のなまはげと 柴灯まつりがある 	⑩刈和野大綱引き（国指定文化財） 2月10日 200mの綱を引合う500年の伝統行事 	

資料；東北の冬まつり；東北六県観光推進協議会

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	心を癒す名湯・秘湯																																									
北東北の名湯・秘湯（1／2）																																												
北東北各県は、温泉数に恵まれ、中でも名湯・秘湯と呼ばれる温泉に恵まれる。 また、北東北の温泉は、自然の中にたたずみ、野趣あふれることを特徴とするものが多い。 温泉の楽しみ方が、余暇の過ごし方が多様化し、団体での慰安旅行が減少し、個人やグループで温泉を楽しみ、また、自然の中の温泉を楽しむ方向に変化していることに照らすと、北東北の温泉には高い付加価値を見出すことができる。 地元の人々には、農閑期の娯楽などを目的として古くから親しまれている。 海外、特にアジアから訪れる人々には、雪とセットで楽しもうとする需要がある。 北東北の名湯・秘湯には、豊かな可能性を見出すことができる。																																												
■北東北の秘湯 <table><tr><td></td><td>箇所数</td><td>順位</td></tr><tr><td>青森県</td><td>4</td><td>11</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>6</td><td>10</td></tr><tr><td>秋田県</td><td>8</td><td>7</td></tr><tr><td>全 国</td><td>155</td><td>—</td></tr></table> 「日本秘湯を守る会」／朝日旅行会  温泉の楽しみ方の変化					箇所数	順位	青森県	4	11	岩手県	6	10	秋田県	8	7	全 国	155	—																										
	箇所数	順位																																										
青森県	4	11																																										
岩手県	6	10																																										
秋田県	8	7																																										
全 国	155	—																																										
■北東北各県の温泉のランキング（資料；平成 14 年環境省「温泉利用状況報告」 <table><tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">温泉地数</td><td colspan="2">源泉数</td><td colspan="2">温泉を利用した公衆浴場</td></tr><tr><td>箇所数</td><td>順位</td><td>箇所数</td><td>順位</td><td>箇所数</td><td>順位</td></tr><tr><td>青森県</td><td>154</td><td>3</td><td>1007</td><td>7</td><td>248</td><td>5</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>89</td><td>9</td><td>372</td><td>20</td><td>67</td><td>22</td></tr><tr><td>秋田県</td><td>127</td><td>6</td><td>562</td><td>11</td><td>151</td><td>11</td></tr><tr><td>全 国</td><td>3023</td><td>—</td><td>26796</td><td>—</td><td>5080</td><td>—</td></tr></table>					温泉地数		源泉数		温泉を利用した公衆浴場		箇所数	順位	箇所数	順位	箇所数	順位	青森県	154	3	1007	7	248	5	岩手県	89	9	372	20	67	22	秋田県	127	6	562	11	151	11	全 国	3023	—	26796	—	5080	—
	温泉地数		源泉数		温泉を利用した公衆浴場																																							
	箇所数	順位	箇所数	順位	箇所数	順位																																						
青森県	154	3	1007	7	248	5																																						
岩手県	89	9	372	20	67	22																																						
秋田県	127	6	562	11	151	11																																						
全 国	3023	—	26796	—	5080	—																																						

基本テーマ	四季の変化を楽しむ	サブテーマ	心を癒す名湯・秘湯
北東北の名湯・秘湯（2／2）			
■北東北の秘湯（日本秘湯を守る会（朝日旅行会）登録のもの）			
県	温泉名	所在地	
青森県	猿倉温泉 蔦温泉・蔦温泉旅館 谷地温泉 温川温泉・温川山荘	十和田市奥瀬猿倉 上北郡十和田湖町 上北郡十和田湖町八甲田 平賀町大字切明	
岩手県	藤七温泉・彩雲荘 松川温泉・松楓荘 松川温泉・峡雲荘 国見温泉・石塚旅館 夏油温泉・元湯夏油 須川温泉・須川高原温泉	岩手郡松尾村寄木 岩手郡松尾村寄木 岩手郡松尾村寄木 岩手郡雫石町橋場 北上市和賀町岩崎新田 一関市巖美町	
秋田県	蒸の湯温泉・ふけの湯 鶴の湯温泉 乳頭温泉・鶴の湯別館山の湯	鹿角市八幡平字熊沢 仙北郡田沢湖町字先進沢 仙北郡田沢湖町字先進沢	



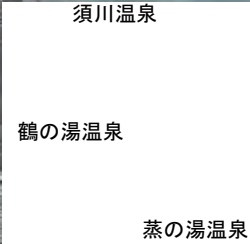













資料；路線バスで行く東北のいで湯（東北六県観光推進協議会）

基本テーマ	自然を敬い共生する	サブテーマ	山野に囲まれた心地よいまちやむら
農林水産業関連文化的景観重要地域			
北東北には、地元に住んでいる人々にとっては見慣れた風景でも、文化的に優れた、また訪れる人々にとって驚きとなつて写る風景が多々ある。 地域特有の耕地や森林の風景、農山漁村の風景は、長い歴史の中で築きあげられてきたものであり、北東北の生活文化・暮らしの知恵そのものである。			
■文化庁によって選定された農林水産業に関連する優れた景観（15 地域）			
種別	景観名	所在地	
水田景観	骨寺荘園遺跡	岩手県・一関市	
畑地景観	津軽の林檎畑	青森県・板柳町	
草地景観	小岩井農場	岩手県・雫石町	
森林景観	車力村の海岸防災林 七里長浜の防砂林 矢立峠の秋田杉林	青森県・車力村 青森県・市浦村 秋田県・大館市	
河川・池沼・湖沼・水路景観	中里町の冬の葦原 十三湖の景観 山本町のじゅんさい採り	青森県・中里町 青森県・市浦村 秋田県・山本町	
集落景観	胆沢扇状地の散村景観	岩手県・胆沢町	
独特の気象による景観	黒崎のやませ	岩手県・普代村・野田村	
複合景観	下北半島のヒバ林 宮沢賢治に関連する文化的景観 遠野 八郎潟	青森県・大畑町・佐井村 岩手県・雫石町 岩手県・遠野 秋田県・大潟村・天王町	
（「農林水産業に関連する文化的景観の保護に関する調査研究」平成 15 年 6 月文化庁より）			

基本テーマ	自然を敬い共生する	サブテーマ	山野に囲まれた心地よいまちやむら
骨寺村遺跡（１／２）			
骨寺村 一関市巖美町の本寺（ほんでら）地域は、鎌倉時代には「骨寺（ほねてら）村」と呼ばれる平泉・中尊寺経蔵の荘園であった。 【陸奥国骨寺村絵図】 平泉・中尊寺に伝わる２枚の荘園絵図は、13世紀頃に描かれたとされ、平成7年に中尊寺文書とともに国指定重要文化財に指定されている。 絵図の中には、鎌倉時代の村の様子が表されている。在家と呼ばれた税を納める農家や、水田開発に関わる役目を果たした社寺名、道路や川などが描かれ、当時の面影を偲ぶ内容がそこにはある。 【本寺（骨寺村荘園遺跡）を訪ねる】 一ノ関駅から須川温泉・瑞山（すかわおんせん・みずやま）行きのバスで国道342号線を西へと進む。途中、名勝天然記念物・巖美溪を車窓左手に見ながら30分程で「本寺発電所前」停留所に着く。ここで下車ののち、徒歩で北の県道前沢本寺線を約3分行くと、駒形根神社前に着く。山に囲まれた水田風景が広がるが、眼に写るその空間が「骨寺村荘園遺跡」である。 本寺の平野部の中央に立ち360度見渡した時、絵図に描かれた山川が基本的にそのまま残る景観を感じることができる。 全国に所在する荘園跡は、建物や区画整理などにより、現在では大幅に環境が変化してしまっている場合がほとんどである。 しかしながら本寺は、都会的な構造物や大規模な開発がなされることなく現在に至り、地形的には当時描かれた絵図の内容とほぼ一致している。 伝承する２枚の古絵図（「簡略絵図」「詳細絵図（在家絵図）」）のうち、詳細に描かれた「詳細絵図」では、きわめて顕著である。 絵図は上（奥）を西に、下（手前）を東としていて、上部３分の１は山の風景が占めている。霊峰須川岳（栗駒山）（すかわだけ（くりこまやま））を最高峰として山々が連なり、その重なる山のほぼ正面に山王窟（さんのうくつ）が位置している。４辺の風景はそれぞれ内側から見たそれぞれの方向の風景として描かれていて、その中に必要とする情報を書き込んだ内容として見る事ができる。 その情報の解釈については、今のところ様々な分野の調査研究により、中世の村の姿を復原する試みを行っていることが伺えるが、眼で中世農村イメージを確認できる所は殆どない。 このような絵図で証明される景観を持つ本寺は、荘園として開拓以来の景観及び環境を保全している地域として「日本の原風景」を伝える数少ない地域の代表である。			
 骨寺村荘園遺跡		 骨寺村から見える栗駒山	

資料出典；全国山村振興連盟HP、文化庁HP

基本テーマ	自然を敬い共生する	サブテーマ	山野に囲まれた心地よいまちやむら
骨寺村遺跡（２／２）			
「陸奥国骨寺村絵図」の調査・研究活動 各地で調査活動を行い、シンポジウムで専門家から話を聞いていくうちに、一関で取り組んでいくべき対象が次第に明らかになってきた。それは次の五つであった。 1. 中世の荘園を描いた「陸奥国骨寺村絵図」を解明し、一関市の厳美町本寺地区を国指定史跡にすること。 2. 日本刀のルーツの地が一関市舞草であるという伝承を解明するため、発掘調査等を進めること。 3. 一関藩主の田村家及び家中にかかわる古文書を解読し、刊本にして世に出し、近世研究者が利用できるようにすること。 4. 城下町であった雰囲気を生かした町並みを創ること。とりわけ、一関市内に一軒だけ残っている武家屋敷・沼田家屋敷を保存・活用すること。 5. 建部清庵や大槻文彦など郷土の偉人を顕彰すること。 この中で、考える会が精力的に取り組んだのは、「陸奥国骨寺村絵図」（国の重要文化財）と現地の比較、沼田家の保存・活用運動であった。当時、行政や他団体が、この二つに全く手をつけていなかったことも、取り組みを早める要因となった。 平成５年１２月、柳之御所遺跡の保存が決定したあとは、一関における「考える会」の活動の重点を「陸奥国骨寺村絵図」の研究へと移す。 中尊寺には、鎌倉時代から南北朝時代に描かれた本寺地区の貴重な絵図「陸奥国骨寺村絵図」が保存されている。その本寺地区は、一関市街から栗駒山へ向かう途中にある。かつて「骨寺村」と呼ばれ、中尊寺・経蔵別当職の荘園だったところなのだ。 「陸奥国骨寺村絵図」の現地比較と歴史的景観の保存については、本寺地区の住民で立ち上げた「美しい本寺推進本部」（佐藤研本部長）との相互協力と、国学院大学の吉田敏広教授ら学識経験者の全面的な協力を得て、数回にわたる現地調査が実施できた。この活動には、平成１０年度に一関市の予算が付き、報告書を出せるまで進展した。 「美しい本寺推進本部」の副会長・佐藤弘征さんは、「考える会」との協力関係によって生まれた効果について、次のように語る。 「私たちの責任で歴史ある本寺を後世に残して行かなくては、消え失せてしまうと思い、『考える会』を通じて大学の先生に橋渡しをしていただき、本格的な調査をすることができました。その結果に基づき、指定される場所に解説の標識を建てることができたほか、住民が地域の歴史に誇りを持つようになりました。今は第一段階を越えたという達成感がありますね。これからも興味のある方々に、本寺に足を運んでいただける地域づくりを行っていきたいと考えています」 （後略）			

資料出典；北上川流域の歴史と文化を考える会 HP